

# 議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No.  
**182**  
2017.5.25

開花が遅れた八形山フリーズア畑。まつり開幕時はつぼみが固いまま。ようやく花が咲き揃ったのは1週間延長されたまつりが終了する頃だった。



講演会「八丈島振興—航空・空港・教育の観点から」の戸崎氏



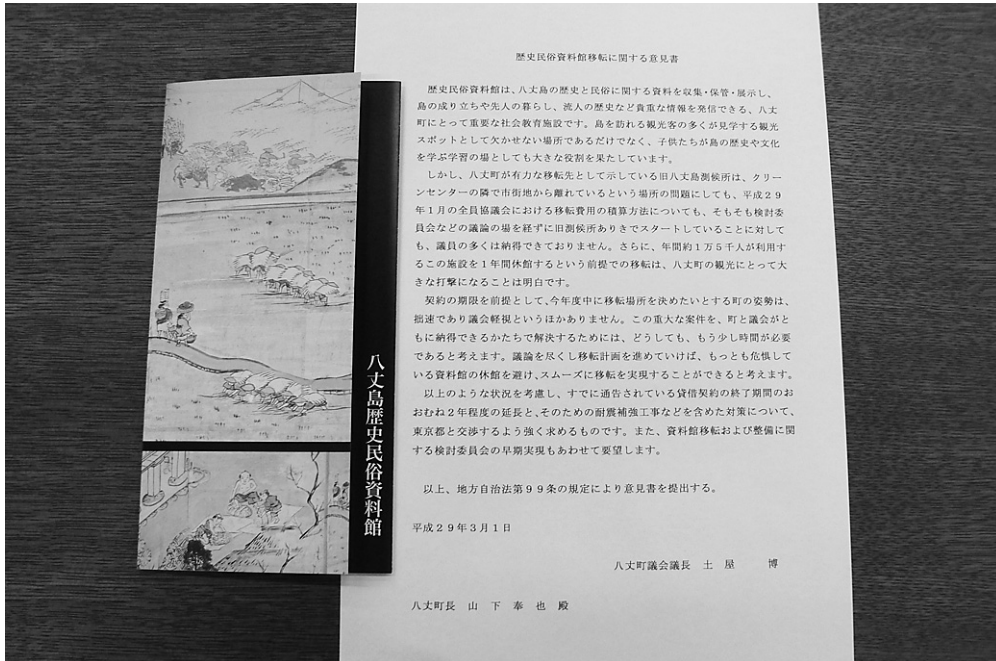
## 第1回八丈町議会定例会

平成29年3月1、22、27、30日開催

### 目次

- 議会、町を動かす ..... 2P
- 一般質問 ..... 3P
- 定例会の質疑から ..... 11P

## 議会、町を動かす



歴史民俗資料館パンフレットと意見書

3月議会で最も重要な案件は、平成29年度の予算を審議することでしたが、3月1日〜30日と長い会期のあいだに、様々な審議が行われました。1日目に町長の施政方針が示され、続いて28年度の補正予算が審議されました。さらに議員から「歴史民俗資料館の移転に関する意見書」が出されました。

### 歴史民俗資料館の移転問題が焦点に

意見書の内容は、「町が提案している旧測候所案に異議をとない、現資料館の貸借期間の延長や耐震工事について東京都と交渉すること、協議機関となる検討委員会の早期実現を求めるといったもので、議員全員が賛成しました。さらに、22日には8人の議員が一般質問に立ち、うち6人が資料館移転についての町の姿勢を質しました。

### 旧測候所の調査費用は組み換えに

こうした議会の動きに対し、ついに町は、「今回上程されている旧測候所調査費用は一応通していただき、検討委員会での審議を見ながら組み替えて対応したい」と議会の意向に寄り添う見解を示しました。測候所案はほぼなくなりました。検討委員会もすぐに立ち上げると約束し、委員の構成も決まりました。1年近くにわたって議員が粘り強く町に訴えかけた成果だと思えます。

### 来年度予算、補正予算の全体を通じて

町が上程した議案について、ほかにも多くの質疑が繰り広げられました。今年度は11人と退職職員が多かったこと、国保の都道府県化の課題、観光関係ではフリージアまつりや欠航時対応の接遇不足、旧末小の跡地利用、総合事業の受け皿の確保、総合交付金の額などについて質疑がありました。来年度予算は原案通り承認されました。

### 全員協議会で戸崎肇氏(大妻女子大・4月より首都大学東京へ就任)が講演

27日午後、「八丈島振興―航空・空港・教育の観点から」というテーマで40分ほどの講演をしていただきました。八丈島の現状について、行政も住民もなすべきことをしていないと厳しい指摘をする一方で、具体的な提案やアイデアを惜しみなく提供してくれました。これを機に協議会を立ち上げ、危機感をもつて町づくりに臨みたいと思えます。

(奥山幸子)

町民の意見・要望を町政に生かす  
システム作りを

**答** 町はいつでも受けつけている



山本 忠志 議員

◆所要時間 24分

檜立地区では、住民総会において、行政機関との対話集会も併せて行っており、その場でも併せて行っており、その場で出された要望が住民の生活改善に大いに役立つてきた歴史がある。

町長の施政方針「町民が主役の町づくり」の具体例であり、町の努力に感謝している。

しかし、一般住民には町の窓口は敷居が高い。

現在、町民の意見や要望を受け付けるために町はどんな方法を講じているか。

**企画財政課長** 広報・広聴は町の大きな仕事であり、坂上自治会の総会や坂下地区自治振興委員の集いで要望を受け付けている。その他、広報折込みの広聴はがき（今年度は休止中）や、手紙、ファクス、メールも受け付けている。

**町主婦や高齢者等の声も町政に反映できないか。**

**町直接**ご来庁頂いてもいいし、電話等でも受け付けている。また、八丈町行政相談員に相談する方法もあるので利用してほしい。

**町**大きな事業を進める場合は、アンケートの実施やパブリックコメントを募集する等のシステムを作れないか。

**町**地熱発電事業案等の作成に当たり、アンケートやパブリックコメントを実施した。今後にも必要に応じて適切に進める。



歴史民俗資料館の一時移転に向けて

**答** 検討委員会で検討する

歴史民俗資料館の一時移転は、「旧測候所」以外に選択の余地は無いかのように、拙速に事を進めようとする町の姿勢に不安を感じている。

また、旧測候所への移転は本場に一時的なものなのか、5年、10年と時が経ち、なし崩しに本移転となってしまうのではないか、との危惧もある。

**町** 検討委員会の構成メンバー、初回開催予定日、主な検討事項について、明らかにしてほしい。

**町教育課長** 構成メンバーは、議員2名（※）、文化財専門委員2名、一般公募3名、計7名を予定している。

初回開催日は、委員決定後、早いうちに設定する。

主な検討事項は、  
①資料館の一時移転について

②資料館を今後どのように整備していくかの2点である。

一時移転については、旧測候所の設備の調査にかかる予算を当初予算に計上したので、今会期中にその予算が認められた場合は調査を実施し結果を議会で示す。従って、一時移転が旧測候所になった場合は、展示内容について検討を行い、それ以外の場合はその方向性に合わせて検討する。

**町** 資料館の移転・新設の進め方について伺いたい。

**町** 旧測候所への移転は、一時的なものであり、新設する場所については、検討委員会の検討結果に基づいて考える。

**町** 町長の私の任期はあと2年しかないのですが、具体的な数値目標は難しいが、新しい場所が確定したとして早ければ5年以内には建てたいと考えている。

小池都知事にも既に支援をお願いしたところである。

※3月定例会最終日後に議員数を1名増やし、3名とし、計8名となった。

航空緊急ヘリの八丈島への配置を

**答**  
消防事務委託は管轄外のため難しい



浅沼 憲春 議員

◆所要時間 9分

八丈町の人口は、2月1日現在で7692名と減少傾向に歯止めがきかず、大変危機的状況である。地球より重い命を、助けられる命を助けることができればと思ひ、莫大な費用や簡単に配置できる問題ではないと思ふが、町民の一人一人の命を守るのも、町の重要な仕事ではないか。

○福祉健康課長 緊急ヘリの輸送は、東京都と東京



○小池都知事はセーフシテイ(安全・安心・元気なまちづくり※)の中で、島嶼での命と安全を守ると発言している。そこで、わが八

消防庁が協定を結び、緊急患者輸送が必要な場合、病院から八丈支庁へ要請し、東京消防庁へ通報する仕組みとなっている。八丈島空港をハブ空港とした緊急ヘリの配置について、東京消防庁へ問い合わせたところ、前提として東京消防庁から消防事務委託を受けていない管轄外には、ヘリは配置できない。八丈には消防本部があるため、消防事務委託は受けられない。平成26年度の緊急患者輸送要請人数は、三宅島60名、御蔵島2名、八丈島45名、青ヶ島6名の計113名。今年度の八丈島の緊急ヘリ患者輸送は3月13日現在で54名。各島には緊急輸送の現状や意見を伺い、八丈町は消防事務委託の管轄外であることやヘリの必要な操縦士、搭乗する医師等をどうするかの問題もあり、現実的に実施するのは難しい状況にあると考える。

※今後の都政の具体的な政策展開を示した3つのうちのひとつ。

避難所となる公共施設への飛散防止フィルムへの貼付を

**答**  
平成29年度に、樫立・中之郷公民館に飛散防止フィルムを貼る

病院、小・中学校、公民館などの公共施設は、避難所等となる。地震や台風などの災害、強い衝撃や強風で割れたガラスは、鋭い破片となり、重大な怪我を誘う二次災害の可能性もある。万が一に備え、危険な破片の飛散を防ぐために、飛散防止フィルムを避難所となる公共施設や子供達がいる小・中学校、怪我や体調不良の方々が通う病院には貼付し、災害時の町民の安全、安心のためにも実施してほしい。

○自然災害時などで避難所となる公共施設の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ることはできないか。

○総務課長 平成25年の

台風26号の襲来に備え、避難所となる公民館のガラスの飛散を防ぐためのテープを貼ったが、以来テープはそのままの状況となっている。避難所の安全確保のために、平成29年度に樫立・中之郷公民館に飛散防止フィルムを貼る計画である。また、国等の補助金を活用し、小・中学校の体育館にも対応していく予定。

昨年の熊本地震の発生状況や報告状況を受け、国や東京都から避難所への対応方針が示されることも予想されるので、動向に注視していきたい。



テープが貼られたままの大賀郷公民館

歴史民俗資料館の休館は避けるべき

答 小スペース展示は検討したい



山下 巧 議員

◆ 所要時間 17分

○ 数年前から老朽化による移転を急がれる歴史民俗資料館だが、観光面での損失、イメージダウンを考えると休館はどうしても避けたい。今後、移転先を検討委員会に託すにしても、移転までに数年かかると考えられる。この間、膨大な展示品を新しい移転先が決まるまで、借用期限後も保管場所として現資料館を物置として利用することが出来ないか。

○ 教育課長 歴史民俗資料館は、平成27年の耐震診断の結果を受け、750㎡分の展示品を収納できる場所を探した結果、旧測候所への移転が有力となった。移転時に膨大な所蔵品の保管場所として現資料館の借用が出来るかは、東京都への要望後、どのような判断をするかとなるため、明確な回答ができない。全部を分散展示するには、多くの場所の確保が難しく、費用も掛かるので難しい。

○ 移転する間、休館を避けるために、1、2ヶ所での分散展示はできないか。

○ 答 今まで750㎡分の規模を念頭に模索していた。小スペースは検討していなかったため、検討する時間が必要。

ゴミ焼却場の移転について

答 経済性、難工事を考慮し選定した

○ 焼却場（クリーンセンター）の移転先の決定と住民説明会を行う工程になっているが、測候所前に隣接する土地が、造成費用が安価の理由で候補地として上がっている。

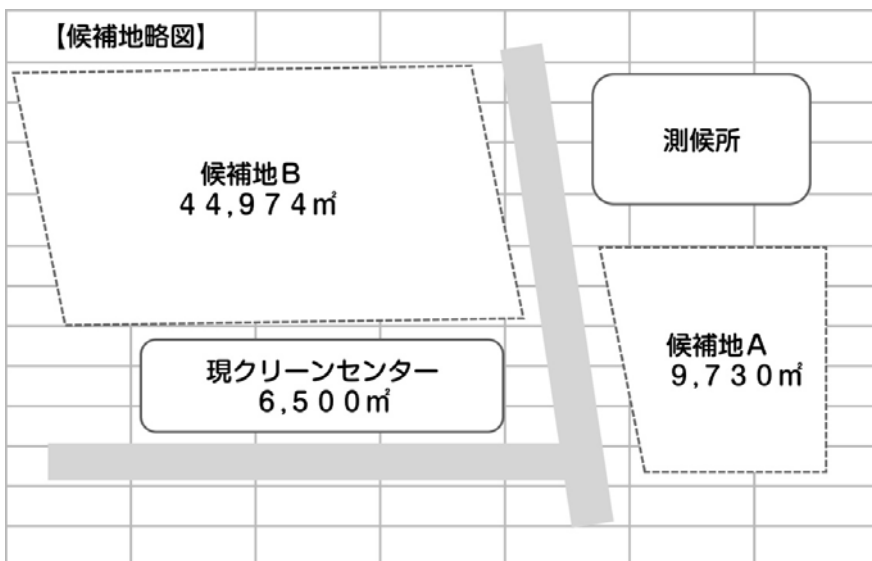
○ 焼却場は大きく極めて特殊な建物だけに問題がある。測候所の今後の有効利用を考えると景観を害し、活用価値も下がる。

○ 焼却場は建物だけではなく、搬入するゴミ収集車や持ち込みの車両が多く出入

りするため、悪臭や塵の拡散が予想される。他の建物と離すべきではないか。

○ 住民課長 ゴミ焼却場は36年度の供用開始に向けて事務手続きを進めている。候補地26ヶ所から6ヶ所に絞り込み、最終的に測候所下を選定した。

○ 造成費の経済性、許認可、跡地利用で地域理解を得て、現焼却炉の上は岩石が硬く工事が難しいと報告をうけている。測候所からは、観測業務をしているが、弊害が無いように煙突にも配慮してほしいとの回答を得ている。



候補地Aで進めている新クリーンセンター略図

特定国境離島事業の幅の拡大を

**答**  
交付金制度の制約や町の財政負担もあり、今後、検討しながら活用していく



水野 佳子 議員

◆所要時間 10分

■ 閏三月の定例会において、山下町長より施政方針が発表された。その主要施策の冒頭に「特定有人国境離島事業」に対する方針があげられている。その事業は大きく4つに分けられる。

- ① 航空路運賃の低廉化
- ② 輸送コストの支援
- ③ 滞在型観光の促進
- ④ 雇用機会の拡大

■ である。

■ しかし、八丈町は「航空路運賃の低廉化」の一点しか述べていない。この事業は、15地域、71の島が指定され、地域社会を維持する

ための施策である。国の予算として50億円が計上されており、この4月から施行されるが、島民の生活を守るため、利用の幅を広げ、積極的に活用していくべきである。例えば3点。

- ・ 地元特産物(生あしたば、切り葉等)や、ガソリンなどの輸送コストの支援
  - ・ 滞在型観光商品の開発(連泊者への宿泊費助成)
  - ・ 雇用機会拡大のための支援事業(夜型デイホーム事業者の導入等)
- 町はどのように考えているのか。

■ 企画財政課長 船賃については、すでに35%の島民割引が設定されており、JR在来線並みになっている。

■ 住民から要望の強い航空運賃については、東京都、

航空会社とともに、この制度を活用し、今年度の実現に向けて取り組んでいく。

■ 輸送コストの支援については、地元特産物のあしたば、切り葉、野菜等の16品目について、東京都より50%の補助。また、ガソリンについては、八丈町では、国から1ℓあたり10円の値引きをうけている。

■ 観光の活性化や雇用の拡大についても、今後、各事業者の方々と意見を交換しながら、来年度に向けて検討していく。

■ 今回この交付金について、町は、漁協・農協・商工会・観光事業者などから要望を聞く機会を設けたのか。

■ 昨年、内閣府の担当者とともに、各事業者へのヒアリングを実施して、意見交換をした。課題も多く、29年度からの実施は難しいが、更なる検討と協議を重ねて、制度の活用を進めていく。

前町議会議員山下崇氏の辞職に伴う、委員会委員の選任について

(委員長及び委員任期 平成29年3月 1日～30年9月24日、  
副委員長任期 平成29年3月10日～30年9月24日)

◎総務文教委員会

委員長 菊池睦男  
委員 岩崎由美

◎議会運営委員会

副委員長 山下 巧  
委員 浅沼憲春

◎消防委員会

委員 菊池睦男

◎八丈町表彰審査委員会

委員 水野佳子

◎八丈町総合開発審議会

委員 小川 一

◎八丈町給食センター運営協議会

委員 菊池睦男

◎八丈町国民健康保険運営協議会

委員 浅沼憲春

◎議会だより編集委員

委員 沖山恵子



産業祭は3月開催にできないのか

答 実行委員会の反省会で協議する



沖山 恵子 議員

◆所要時間 20分

毎年3月に行われていた産業祭が、今年は1月に行われた。出品者からの要望ということだが、私の知る範囲では、「明日葉もフリーズもカツオも買えなかった。産業祭で島の物を買って送るのが習慣だったのに残念だ。3月開催に戻せないか」と言う人が多かった。

毎年同じ事を繰り返すのではなく、色々検討し試すことは良いことだと思うが、今年の結果を受け、来

年はどうする予定なのか。

答 産業観光課長 実行委員会の反省会で時期の見直しの再確認がされ、検討し1月の開催となった。両日も好天に恵まれ昨年よりも740名増の4004名の来場者があった。夏の日照りで明日葉の総量は若干少なめだったが、水産部会



産業祭の展示品の一部

はカツオではなく、金目鯛の予約販売を行った。次回も1月を計画しているが、実行委員会の反省会で議員の意見もふまえ勘案し、開催日を決定していく。



販売がなかったカツオ

民間施設の活用も考え、スリード感を持ち高額にならないようにできないか。

答 資料館移転や建設費用に上限を設けたらどうか。

答 教育課長 現在新規建設や建替えの予定はない。一時移転は現在と同等規模施設への移転を模索した結果、旧測候所が候補になった。そのまま使うと高額になるため、低圧電源を引き込む等のコスト削減を考えている。費用の上限を設けるのではなく、調査してコストダウンが図れる部分はないか精査したうえで議会に示したい。

問 いつまでに決定し、何日までに移転するという期限を決めたらどうか。

問 旧測候所移転では1年以上の閉館が必要だ。資料館を閉館せずに運営する事はできないか。

答 現在の資料館から物品を移動し展示するには期間が必要だ。また、現在と同等規模で、休館日数が最も少ない場所を模索し、旧測候所となった。

問 民間施設活用を含め検討できないか。

答 規模・立地条件・賃貸借料金・耐震等の条件を満たす民間施設が存在するか調査する必要がある。さらに、休館期間や課題の洗い出しにも時間がかかると思うので、まずは旧測候所の調査をさせてほしい。

歴史民俗資料館移転の民間施設活用の検討は

答 条件を満たす民間施設が存在するか調査が必要

歴史民俗資料館の移転費用は、見積りを聞くたびに増え、最終的には数億円になりそうで心配だ。移転は

八丈高校の魅力を高めるための対策を

答

一番の課題はホストファミリーの確保と考えている



奥山 幸子議員

◆所要時間 36分

人口減少に歯止めをかける施策として、町は様々取り組んできたがまだ道なれば。高校に限らず、学校の存在は移住促進策の要と考えられる。島に高校があるかないかで、U・ターン の定着率が大きく変わるとも言われている。八丈でも力強い支援・施策を実行するよう求める。

〇 八丈大学カピオラコミュニティカレッジ提携調印式招待事業と、高校魅力化プロジェクトに対して予算化した目的はなにか。また、

確立していない。

〇 高校留学の受け皿となるホームステイ事業を充実させるための施策は。また募集枠の拡大は可能か。

「ハワイリーダーシッププロジェクト」事業に公的支援を差し伸べる考えはないか。

〇 企画財政課長 姉妹島マウイとの交流にとどまらず

今後はハワイ州という大きな視点で交流を継続したいという観点で、高校の魅力化については島外からの誘致と島へ帰る人材育成の観点から予算化した。ハワイ研修については、十分意義を感じているが、民間で始まった事業なので、町が支援する方法を検討していく。

〇 ハワイ研修への支援は検討するだけでなく実現させたい。

〇 参加人数が少数であること、八高での位置づけが



歴史民俗資料館の移転は将来を見据えたものに

答

検討委員会を早期に立ち上げ、移転先を審議する

資料館移転をめぐるこれまでの経過は議会軽視、現場軽視のまま進められてきたという印象をもっている。すでに提出した意見書は議会の総意であり、町は意見書の内容を尊重し、資料館の将来に期待がもてるような移転を考えていただきたい。

〇 意見書に対する町の回答は。

〇 教育課長 意見書の要望のひとつは建物の賃貸契約延長と耐震工事、もう一つは検討委員会の設置である。前者については、資料館が東京都の建物であるため、交渉が必要であるが、かなり困難と考えている。後者については早期実現する。

〇 現資料館の土地を、東京都から払い下げてもらえば、新たな可能性が生まれる。その道を探るべきと思う。たとえば、資料館の駐車場の半分にプレハブを建て、バスは近くの駐車場(来年度、宇喜多秀家の墓のそばに駐車場が整備される)に待機し、現資料館は倉庫として使うという考えはないか。

〇 払い下げってもらうとなると、町が耐震工事をすることになるので、慎重に対処したい。検討委員会の中で審議していく。

● こんな質問もしました

質問 高齢者の足をどのような確保するか

答 総務課長 高齢者のあいだで不公平がない方法を考えたい



## 歴史民俗資料館に関する質問

**答** 「歴史文化基本構想」を策定し、ぶれない文化事業を進める



岩崎 由美 議員

◆所要時間 39分

**問** この問題がここまで長引いてしまった背景についての最大の原因は。

**答** 耐震診断の結果が最も大きな要因であると考えている。

**問** 本格的な建設に向けた基金の創設を行うべきでは。

**答** 新資料館の構想が出た段階で、その時点の財政状況をしながら、基金の創設を行うかを考えたい。

**問** 検討委員会に対してはどのような内容を委ねるか。またスケジュールは。

**答** 教育課長 「一時移転」および「新歴史民俗資料館の整備案」という2本の柱について検討していきたい。先の町長の答弁のとおり、5年を目途と考えている。

**問** 教育長 「文化と歴史

**問** この問題の根源的な原因は耐震構造問題ではなく、町として島の歴史の素晴らしさを理解していないことにあるのでは。島の歴史文化の重要性を理解している内外の人との連携を。

**問** 過去10年間の年ごとの中途退職者の人数は。

先般の全員協議会において、大量の町職員の退職者があることが問題になった。自治体の心臓部である町役場がこのような状況であることは地域にとつて看過できない課題。

**問** 町職員の退職問題、業務負荷の改善を

**答** 人事評価システムの充実と組織改革で対応する

を活かす町づくり」という町の基本構想が文化事業として進められていないという反省がある。「歴史文化基本構想」をしつかりと策定し、それをバイブルとしてぶれないように文化事業を進めていくことが必要で、そこに全力を尽くして参りたい。専門家のご意見、検討委員会の皆さんのご示唆を頂きながら、しつかりとした基本構想を策定していきたい。

**問** 総務課長 八丈町全職員は3月1日現在245名となっている。事務職系に絞ると、職員数が約130名。平成19年度以降、4、5、3、5、4、9、4、3、2、11人。その他の職種を合わせ、この10年で101人が退職。

**問** 退職者の傾向は。

**答** 入庁3年以内の退職が30%、勸奨退職は12%、島外の出身者36%。

**問** 職員の人事評価制度とその効果は。

**答** 東京都をモデルに、八丈版として人材育成に結びついていくシステム作りを進めている。効果という点でみれば、制度上まだまだ検討が必要で、八丈町に合うものにするための改善も行っていく。

**問** 大人数の退職者がある原因は。

**答** 様々なものが考えられ

るが、政策課題への対応にかかる業務負荷がかかり続けている状況が一つの原因。退職者の個人的事情もあるため、さまざまな要因による結果と捉えている。

**問** 退職者が多い現状を克服するための対策は。

**答** 組織改革の検討や組織力向上のための職員研修の実施を行いつつ、職員募集を行う。国家公務員と同じ体系でやっていくことが大前提だが、人事評価システムで号俸のアップであったり、ボーナスの算定の率で差が付くようなことも検討する。問題を抱えている職員に対しては組織的な支援も必要。

**問** 人は上司の背中をみて成長するともいわれる。「俺の背中をみて付いてこい」と自信をもっていえるか。

**答** 常日頃から我々も背中をみせるようにしていきたい。

歴史民俗資料館の移転について

答 検討委員会の結論を見守る



菊池 睦男 議員

◆所要時間 48分

環境風致的には最悪の場所であり、あの場所には移転すべきではない。

町議会では、全議員が賛成者となって、貸借期間延長と検討委員会設立を主旨とした意見書が採択された。当初予算には、移転予定地の旧測候所の修繕費と家賃分462万円が計上されているが、町長は「一般質問や意見書が出ており、予算審議を含めて判断してまとめていきたい」と答弁し、予算執行については、凍結する方向性を示唆した。

資料館は、西側正面に富士山を望み、敷地内には高倉2棟、旧支庁のレンガ門柱、ソテツ大株、近藤富蔵の石碑等がある。2本の古道があり、1本は元菊屋、弘商店裏に抜けるが、途中、中村商店の裏を通り、ここには、長楽寺と宗福寺があった。もう1本は墓地を抜けて、馬路を通り、大里に至る道である。そういう地理の中心に支庁があり、警察が並んで建っていた。権力の中核が存在した歴史がある。あの景観と風致は「歴史と文化の象徴」のひとつである。私は個人的に、都議会と八丈支庁のヒアリングをしたが、①総務局の見解は、「土地買収は、自治体の意思があれば、不可

能ではない。」②貸借延期は都庁ではなく、八丈支庁長の権限である。支庁長は「明確な整備計画があつて、議会と町が一体となって進めるなら、一つの考え方」と否定はしていない。③建物の再利用は文化庁所管で「保存と有効活用は、国民の義務であり」可能性はある。④古い建物再利用は、構造計算の建築設計が必要。都が調査した「危険建物」との鑑定評価の見直し

航空運賃の仕組づくり

答 (仮称) 今年度設立する

施政方針では「航空運賃低廉化の実現を目指す」とある。また、航空路対策協議会(仮称)を設立すると

も明言しているが、歓迎し評価できる内容である。

れたのか。

答 政策提言は各所管に『29年度予算要求要綱』で明示した。町の施策と合致するものは積極的に取り組む。すでに、スポーツ合宿、施設ガイドブックの完成、ザトウクジラ調査着手、wi-fi11箇所設置、インバウンド対策で多言語パンフレット作成等が進み、そして、航空路対策協議会(仮称)立ち上げは、29年度の新規事業である。

答 航空路対策協議会に期待したいが、どのように進めていくのか。

答 協議会は、島内関係諸団体と共同した、官民連携組織にする。内容は情報の共有、各団体のネットワークによる誘致活動、町への政策提言等がある。航空路の維持発展を、他人事ではなく、自分事として行動することが求められる。

答 文化財の改修なので、補助金支援の可能性はある。

答 補助金や交付金措置の財源対策を検討すべきでは。

答 教育課長 はじめて聴く提案であり、検討委員会の結論を見守る。

答 現在地を東京都から買収して、恒久的な資料館の整備や、現在の木造建物(登録有形文化財)をそのまま再利用する方策はないか。

答 航空運賃特別委員会報告の政策提言はどう具現化さ

るのか。 国境離島特措法は、4月から施行され、不明な部分が多かったが、ようやく1月になって、国の制度設計が提示された。東京都、航空会社、町の三者で協議中だ。まだ課題があるが、解決すれば値下げの実現化が進むことになる。

ふるさと納税で八丈町から出ていった金額はどれくらいか



奥山博文議員 町からふるさと納税で出ていったのはどれくらいか。

総務課長 他自治体へ納めた場合、町へ納める税金からの控除ということになるため、予算書には金額はでてこないが、平成27年度の控除額は221万8千円。【決算で控除額をわかるようにできないか。八丈から出て行く金額のほうが多くなるのでは。等の質問あり。】

退職者が多いが病院体制はどうするのか

奥山幸子議員 今年度の病院職員退職者の内訳は。

病院事務長 今年度未までに看護師4名、事務職1名、理学療法士1名、計6名。

奥山幸子議員 退職者が多い

と他の看護師等に負担がかかる。命に関わる場所。対策、募集どのようにしていくのか。

企業管理者 採用の予定もあるが、4月1日には看護師が2名不足する。いろいろなかたちで募集をかけ、採用にあたっていきたい。

東京都町村総合交付金は増えるのか

山本忠志議員 先日、報道発表で交付金額が公表され39市町村合計は500億円。八丈町の今年度当初予算は10億円だが、交付金額は13億円となっていたがなぜ増えたのか。

企画財政課主幹 28年度当初は10億円ということですが、3月最終補正で増額分を計上している。都では29年度も28年度同様500億円ということだが、他市町村も大変厳しい財政状況であり、来年度も同じ交付金額とは限らないため、29年度当初予算も10億円と計上した。

地域おこし協力隊、なぜ再募集をしているのか

山本忠志議員 多くの町民が期待をしている地域おこし協力隊。現在の応募状況は。なぜ、再度、募集となったのか。

企画財政課長 2月に応募し、問い合わせ等はあったが応募までに至らなかった。期間の短さ、周知不足だった。

山本忠志議員 給与月16万6000円は安いのでは。

企画財政課長 給与については、9月議会で認めていただいている。非常勤の特別職なので、副業ができる。週29時間、フルタイムと考

えていないので、将来を見据えた上で何かにつなげ、見つけることができる時間もある。

【募集内容の幅を広げられないか。等の質問あり。】

フリージアまつり会場の花、なぜ咲かなかった

沖山恵子議員 今年のフリー

ジアまつり会場の花が咲かなかったのはなぜか。来年度も今年度同様で行うのか。

産業観光課主幹 観光客の方々には申し訳ない気持ちである。委託事業者と協力し進めたが、様々な要因があり、町としても知識不足だった。

副町長 今年度はフリージア自体が鳥全体で少なく、不作であった。生産者も少なくなっている。フリージアまつりは八丈島では最大のイベント。今後のまつり全体の方向性を関係機関と相談していきたい。

【フリージア以外のものもアピールしては。実行委員会はどうか動いたのか。等の質問あり。】

- その他
- ◎ マイナンバーカードの交付人数は
- ◎ 観光費の団体集客負担金の人数は
- ◎ 路線バスの観光ルート創設は怎么样了か
- ◎ 坂下地域の0歳児保育の予定はあるか
- ◎ クジラの調査は毎年やるのか
- ◎ 病院建物の傷んでいるところの改修を
- ◎ 職員の残業上限はあるのかなども質問しました。

山下崇議員の辞職について



前八丈町議会議員山下崇氏が平成29年2月28日付にて辞職しました。

平成22年に初当選。平成26年10月より総務文教委員長を務め、2期6年4ヶ月。

議 発

歴史民俗資料館移転に関する意見書

提出者：奥山幸子

賛成者：沖山恵子、浅沼憲春、小川一

山下巧、菊池陸男、岩崎由美

奥山博文、小澤一美、水野佳子

原案可決

## 町ナビ

全国的にバスの旅が人気だ。八丈島もこの春、団体ツアーで町営貸切バスがフル稼働するなど、バスが島の観光に欠かせないアイテムとなっている。レンタカーが不足したゴールデンウィークは観光協会主催のバスツアーが大好評だったほか、町営乗り合いバスも時間帯によってはバス停に列ができた。これからは運転免許を持たない若者も増えてくるという。ゆったりとした時間が流れ、行く先々で地元の人とふれあえる島のバス旅。古くて新しい旅の魅力になりそうだ。



### 主な議決事項

● 3月定例会 平成29年3月1、22、27、30日開催

● 常任委員会委員の選任について ほか選任1件

● 八丈町消防委員会委員の選任について

● 議員の派遣について（フリージアまつり表敬訪問）ほか承認4件

● 専決処分事項の報告及び承認について

● （平成28年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分2件

● 専決処分事項の報告について

● （未納の給食納付金の支払督促による訴訟及び和解について）ほか報告2件

● 八丈町監査委員の選任の同意について

● 八丈町職員懲戒審査委員会委員及び補充員の任命の同意について

● 平成28年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算14件

● 土地の買入れについて ほか1件

● 歴史民俗資料館移転に関する意見書

● 平成29年度八丈町一般会計予算 ほか当初予算7件

● 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

● ほか条例制定・改正15件

● 平成28年度八丈町教育委員会の権限に属する事務の管理

● 及び執行の状況の点検及び評価（平成27年度分）について

● 末吉地域公会堂の指定管理者の指定について

● 八丈町辺地総合整備計画の策定について

● 八丈町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

● 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について

### 主な会議

● 総務文教委員会 平成29年3月1日開催

● 委員長の互選について

● 全員協議会 平成29年3月27日、30日開催

● 八丈島振興 航空・空港・教育の観点から

● 平成29年度要望活動項目について

● 貸切バス事業許可の更新制度について

● 行政視察研修のレポートについて

● 議会運営委員会 平成29年2月22日、3月10日開催

● 平成29年第一回八丈町議会定例会について

● 一般質問について

## 編集後記

定例会初日、議長より異例の発表がありました。「山下崇議員より議員辞職願が提出され受理した」とのこと。その後の議事は通常通り進行されましたが、議場全体が驚きと不安に包まれた中での緊張した幕開けとなりました。今回は、町長の施政方針表明や、平成29年度予算審議等の案件を控えた重要な定例会。

また、町で進めている歴史民俗資料館の一時移転に対し、「待った」をかけた意見書も提出され、紛糾は必須と思われましたが、混乱なく全日程を終えました。

終了後の全員協議会では、行政視察報告書を全議員が提出することが、全会一致で了承されました。 山本忠志

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 沖山恵子 山本忠志 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437